

# わかやま 県議会

## だより 2月 定例会号

**No.12**  
平成23年  
【2011】  
4月23日発行

根来寺(岩出市)

主な記事

- 2~3面 2月定例会の概要
- 4面 予算特別委員会／県議会を見る・聞く／がんばろう!日本

### 議案等審議結果

	提出・受理件数	可決・採択
知事提出議案	663	663
議員提出議案	11	11
意見書	127	102
決議	12	12
請願	22	13
陳情	32	-

### 4月30日 第16期県議会議員任期開始

- 6月1日 全員協議会(公正な入札制度の確保等)
- 6月28日 議員定数等検討特別委員会設置
- 11月19日 環境に関する交流協定書調印(中国・山東省)
- 12月27日 道路特定財源諸税の暫定税率等の延長を求める和歌山県決起大会(和歌山市)

平成19年



平成20年



# 県議会のあゆみ

第16期(平成19年4月)～平成23年4月

- 1月22日 近畿6府県議員交流フォーラム(和歌山市)
- 3月18日 議員提案条例制定(①、②)
- 4月16日 全員協議会(道路特定財源の暫定税率失効の影響等)
- 8月15日 「わかやま県議会だより」リニューアル創刊
- 9月28日 和歌山県・スペインガリシア州姉妹道提携10周年記念事業(スペイン)
- 12月17日 観光振興に係る条例案検討会設置

- 1月29日 紀伊半島三県議会交流会議(田辺市本宮町)
- 10月20日 全員協議会(阪和自動車道4車線化凍結への対応)
- 11月6日 在伯県人会連合会創立55周年記念式典(ブラジル、ペルー)
- 11月22日 和歌山県山東省友好提携25周年記念事業(中国・山東省)
- 11月30日 近畿自動車道4車線化などの道路整備を促進する和歌山県民大会(和歌山市)
- 12月17日 議員提案条例制定・可決(③、④)

平成21年



平成22年

### 和歌山県議会開会300回記念式典



- 8月31日 エルトゥールル号120年慰霊式典(トルコ)
- 9月28日 関西広域連合規約案可決
- 11月30日 和歌山県議会開会300回記念式典
- 12月1日 関西広域連合設立
- 12月16日 歯科保健推進に係る条例案検討会設置
- 12月17日 関西広域連合議会議員選出

### 議員提案条例

- ①和歌山県未成年者喫煙防止条例制定
- ②和歌山県防災対策推進条例制定
- ③和歌山県観光立県推進条例制定
- ④和歌山県議会議員の定数及び各選挙区において選挙すべき議員の数を定める条例の一部を改正する条例可決

平成23年

4月29日 第16期県議会議員任期満了

# 平成23年度当初予算を可決

# 2月定例会の概要

## 知事説明要旨

「未来に羽ばたく元気な和歌山」を実現するために、まず、県民お一人お一人が現在(いま)の生活を不安なく送れるようにするとともに、将来に対して希望を持てるよう「未来を拓く希望の政策」と「命とくらしの現在(いま)を守る安心の政策」の2つの柱からなる新政策を全庁を挙げて推進します。



## 一般質問議員 16人

2月23日(水)	2月24日(木)	2月25日(金)	2月28日(月)	3月1日(火)
尾崎 太郎	原 日出夫	藤山 将材	長坂 隆司	松本 貞次
中 拓哉	中村 裕一	松坂 英樹	山本 茂博	角田 秀樹
	奥村 規子	山下 大輔	藤井健太郎	小川 武
	岸本 健		尾崎 要二	

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は次のとおりです。(要約抜粋)

### 知事の4年間の総括と今後の抱負

**問** 知事は、これまでの4年間の実績をどう総括するか。また、2期県政の目標を「元気な和歌山」の実現とされたが、その抱負は。

**答** 4年前に知事に当選して以来、元気なふるさと和歌山を実現しようとの一心で頑張ってきた。有効求人倍率が近畿でトップになるなど効果も少しあらわれてきたが、県勢浮揚という点では、まだ十分でない。厳しい経済・雇用情勢への対応や公共インフラの整備など、課題が山積しており、今後も、県民の協力のもと、県議会と連携しながら、ふるさと和歌山をさらに元気にするため、粉骨砕身の覚悟で邁進する。



### 「あたたかい改革」とは

**問** 依然として厳しい景気・雇用情勢のもと、知事は2期目のスタートとなる予算編成に取り組まれたが、知事の考える「あたたかい改革」とは何か。

**答** 行財政改革を進めながら、限られた予算の中で、つらい思いをしている人や地域に配慮しながら、福祉や教育、過疎対策などを後退させることなく、さらに伸ばしていく取組を「あたたかい改革」と位置づけている。厳しい経済環境の中、児童虐待の対応強化などを平成23年度当初予算に反映したところである。

### 和歌浦地域の活性化策

**問** 名所・景勝地の和歌浦地域の活性化策の一環として、今後、和歌浦漁港を中心とした取組をどう支援するか。

**答** 県では、水産業を核とした地域活性化支援を新政策として掲げ、県、市町村、地元関係者が一体となり、6次産業化の推進など、複合的な地域おこしの支援を考えている。和歌浦漁港でも、交流拠点施設整備による朝市の常設化など、県と地元地域が一体となつてさらなる地域の発展に向けて取り組む。

**6次産業**

第1次産業(農業・水産業等)が第2次産業(食品加工)、第3次産業(流通・販売)にもかかわる多角的経営のこと。



### 下水道への接続補助

**問** 下水道の接続に対する県の補助対象が市町村の生活困窮世帯に対する補助となつているが、もっと効果の上がる県費補助ができないか。

**答** 接続費用の負担が困難な生活困窮世帯に対する市町村補助の半分を県が補助しているが、これは法で義務づけられた接続費用の負担が困難な方を支援するものである。それ以外の支援については市町村でお願いしたい。

### 官公需の地元中小事業者への発注拡大

**問** 21年度の和歌山市を含む官公需総額に占める中小企業向け発注額の割合は77・4%で全国32位である。地元中小事業者への発注機会拡大にどう取り組んでいるか。

**答** 国の方針に準じて、中小企業者の受注機会の増大のための措置を徹底するよう周知を図り、一層の契約比率向上に努めていく。国の実績、全国平均とも上回っているため、現在のところ独自に目標を定める予定はないが、発注機会拡大には市内等への徹底的な周知が欠かせないと考え、引き続き粘り強く取り組む。

### 地デジ受信困難地域への支援

**問** 本年7月から地上デジタル放送へ移行するが、県内受信困難地域への支援はどこまで行われたか。

**答** 地デジは、電波の利用という国策から出てきた話であり、国の責任で行うよう強く要求してきたところ、共聴施設新設の補助拡充やCATVに対応するための支援措置など、大きく改善された。県としても、市町と連携して住民への説明会等を開催して制度の活用を進め、住民の負担軽減を図ってきた。



### 高病原性鳥インフルエンザ対策

**問** 2月15日に紀の川市で発生し、18日に約12万羽を殺処分したが、終息宣言は法律上、最長でも3月14日である。この間の関係農家、関連業者への対応は。

**答** 殺処分となった鶏の評価額金の8割は、法に基づく手当金として国から補償される。現在、全額補償に向けた法改正が検討されているが、仮に国で全額対応できない場合、残額を県で補てんする。移動制限区域内の家きん農家の売上減や飼料費増に対しても補てんすることとし、金融支援についても相談窓口を設置して対応している。



### 買い物弱者への対応

**問** 高齢化社会における買い物弱者への対応として、身近な商店との連携を図るネットワークを構築し、配送業務を担えるNPO等で雇用を生み出す取組を導入しては。

**答** 買い物弱者対策は喫緊の社会的課題であり、今後、商店街がビジネスチャンスととらえて果敢に取り組むときは、県も積極的に支援する。その際にNPO等と協働を図っていくことは新しい地域活性化モデルが示されることにもなるので、関係機関や他部局と連携して解決に努める。

## 議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	33件	平成23年度和歌山県一般会計予算等	可決
条例案件(議員提出)	1件	議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例	//
条例案件(知事提出)	24件	和歌山県職員定数条例の一部を改正する条例等	//
その他案件( // )	13件	紀の川流域下水道の指定管理者の指定について等	//
人事案件( // )	1件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて	同意
請願	3件	教育改革についての請願	継続審査
		高齢者の生活実態に見合う年金引き上げと「生活支援金」の支給を求める意見書の提出を求める請願	不採択
		消費税によらない最低保障年金制度の制定を求める意見書の提出を求める請願	//
意見書	8件	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	可決
		北方領土問題の早期解決を求める意見書	//
		鉄道駅におけるホームドア整備の推進に関する意見書	//
		関西国際空港の再生及び強化に関する意見書	//
		高速道路ネットワークの早期実現に向けた予算確保を求める意見書	//
		高速道路の新たな料金割引に関する意見書	//
		地球温暖化対策税(環境税)導入について慎重な対応を求める意見書	//
		南極海における鯨類捕獲調査事業の継続等を求める意見書	//

## 会期中の主な動き

### ■特別委員会の開催

- 防災・環境問題等対策特別委員会 (2/24)
- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 (2/25)
- 予算特別委員会 (3/2、3、8)

### ■条例案検討会の開催

- 歯科保健推進に係る条例案検討会(第2回) (3/1)

## 会期日程(24日間)

月	日	内容
2月	14日(月)	本会議
	15日(火)	議案調査
	16日(水)	本会議・常任委員会
	17日(木)	議案調査
	18日(金)	
	21日(月)	
	22日(火)	
	23日(水)	本会議(一般質問)
24日(木)	本会議(一般質問)	
3月	25日(金)	本会議(一般質問)
	28日(月)	
	1日(火)	予算特別委員会
	2日(水)	
	3日(木)	常任委員会
4日(金)		
8日(火)	本会議・予算特別委員会	
9日(水)	本会議	

**問** 和歌山市内の救命率向上のため、早期にドクターカーを導入する必要があるが、その現状と今後の対応は。

**答** ドクターカーは重篤傷病者等の救命率向上につながり、現在、日赤和歌山医療センター、県立医科大学附属病院、和歌山市消防局と検討を行っている。今後、引き続き関係機関と協議し、医師不足の中、病院の救急部門への影響等も考慮しながら取り組む。



## 知的障害児通園施設増設

**問** 現在、知的障害児通園施設は県内に3カ所あるが、いずれも満杯の状況である。入園できない子供にどう対応しているか。

**答** 児童デイサービス事業で障害児の個別・集団療育を実施しており、月平均約1000名が利用している。障害児(者)地域療育等支援事業では、医師や理学療法士等の専門家が定期的に家庭や地域の集会所を巡回し、療育支援の充実を図っている。今後も市町村と協議の上、社会福祉法人による施設設置を働きかける。

## ドクターカーの導入

**問** 和歌山市内の救命率向上のため、早期にドクターカーを導入する必要があるが、その現状と今後の対応は。

**答** ドクターカーは重篤傷病者等の救命率向上につながり、現在、日赤和歌山医療センター、県立医科大学附属病院、和歌山市消防局と検討を行っている。今後、引き続き関係機関と協議し、医師不足の中、病院の救急部門への影響等も考慮しながら取り組む。

## 医大不適正支出金の返還

**問** 県立医科大学の不適正経理問題について、不適正支出をした研究者の処分のみならず、そのお金を返還させるべきではないか。

**答** 昨年末、国との協議が完了した。不適正支出額は約1億3000万円、加算金を含めると最終返還額は約1億7000万円となる見込みである。国等へは大学が立てかえて返還しているが、今後、研究者から大学への返済について、支払い方法等の貸付契約を交わすことになっている。

## 紀南への回復期リハビリテーションセンター設置

**問** 現在、田辺地域では回復期リハビリテーションセンターは手一杯と聞く。センターを設置すれば、患者を寝たきりにすることもなく、医療費削減の効果もあるのではないか。

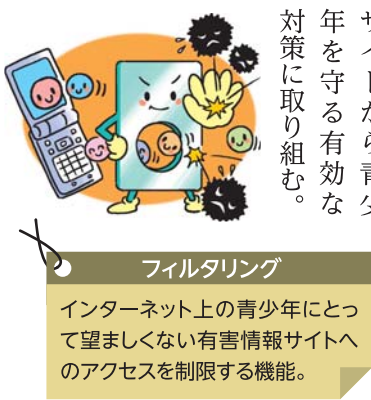
**答** 新たなリハビリテーションセンターの設置、既設の医療機関の強化や連携など、地域にとってより適切な医療体制のあり方について、地域の意見も十分聞き、保健所単位で設置する医療対策協議会で検討している。



## 携帯電話の有害サイト対策

**問** 携帯電話サイトを通じて性犯罪被害等が増加している中、有害サイトとの接点を断ち切るため、効果的な対策を考えなければならぬと思うが。

**答** 各携帯電話事業者とフィルタリング促進のための検討等を行っているが、フィルタリング解除には保護者に理由書の提出を求めるという事業者の自主的な動きも広まっている。今後も事業者とフィルタリング促進を働きかけるとともに、安易な解除に歯止めをかけ、有害サイトから青少年を守る有効な対策に取り組む。



## 市町村合併に対する所見

**問** 「平成の合併」で30市町村となったが、合併のデメリットもあらわれてきている。知事の所見は。

**答** 専門部署の新設等による行援を活用した公共施設の耐震化の推進などの効果もあらわれている反面、旧庁舎周辺のにぎわい低下、水道料金等の住民負担の調整などの課題もある。県としても、そういった問題意識を持ち、課題解消に努めるべく、市町村の方々と議論しながら様々な施策を通じて支援していく。

## 高校の入学定員増

**問** 定員増は予算がなく難しいと思うが、1クラス分の経費は約1600万円と聞いた。それで数十人の子供たちの未来が保証されるのなら高くはないのでは。

**答** 県立高校の募集定員は、教育委員会が生徒数の推移や地域の実態等を総合的に検討して決定しているが、「和歌山の子供は和歌山で育てる」ことを基本に置くよう求めている。予算を理由に子供の未来を狭めることは考えておらず、今後も本県教育の充実に取り組む。

## 生徒指導のあり方

**問** 中学校でのいじめで、担任が見て見ぬふりをしていることもあると聞いた。聖職者である教師は毅然とした態度で指導してもらいたい。

**答** 日ごろから児童生徒のことを一番に考え、実態把握に努めながら熱意を持って対応するとともに、いじめや暴力には毅然とした態度で臨み、規範意識をはじめ豊かな社会性を育てるよう引き続き指導していく。



# 見聞 県議会を

## テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

### テレビ テレビ和歌山(WTV)

**県議会だより** 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送(6月定例会放送日未定)

**県議会手話だより** 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送(6月定例会放送日未定)

### ラジオ 和歌山放送(WBS)

**県議会ダイジェスト** 開会、質問、閉会日の22時から15～30分間放送(6月定例会放送日未定)

## 県議会ホームページ

和歌山県議会

和歌山県議会

検索

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

● 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。

● 議会開会中は、質問など本会議場での模様を**生中継**しています。また、この**中継録画**や**テレビ広報番組の録画**をいつでも見ることが出来ます。

## 傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

### 平成23年5月臨時会 会期日程(予定)

本会議 5月12日(木)～13日(金)・16日(月)～17日(火)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

### 「点字版・テープ版」のご案内

本紙の点字版、テープ版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

### 虚礼廃止にご理解・ご協力を!

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。

- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄附行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
- 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)

### 編集後記

4月といえば、新入生・新入社員というように新たな事が始まる月ですが、県議会も、4月30日から新議員による議会活動が始まります。また、この「わかやま県議会だより」も、次号より新たな紙面となりますので、どうぞご期待ください。

**マークのある駐車スペースは障害のある方のためのスペースです** 障害のある方以外の方は他の駐車スペースをご利用ください

### お問い合わせは県議会事務局各課まで

総務課 議会庶務、情報公開など ☎073-441-3560 FAX073-441-3559  
 議事課 傍聴、請願、陳情の受付など ☎073-441-3570 FAX073-441-3575  
 調査課 調査業務、議員提案条例など ☎073-441-3580 FAX073-441-3581

発行日/平成23年4月23日  
 編集・発行/和歌山県議会  
 〒640-8585(県庁専用郵便番号)  
 和歌山市小松原通1-1  
 ☎ 073-441-3570



# がんばろう! 日本

## 被災地復興への支援について

このたびの「東日本大震災」により、東北地方太平洋沿岸部を中心に甚大な被害が発生し、多くの尊い命が奪われました。

和歌山県議会を代表して、犠牲となられた多くの方々とご遺族の皆様に対し深く哀悼の意を表すとともに、被災され、避難生活等厳しい生活を余儀なくされている方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

震災発生直後より、全国各地から、また世界各地から被災地に対し様々な支援活動が行われており、本県におきましても、県民の皆様のご協力のもと義援金や支援物資の提供が行われ、また、医療・消防をはじめ様々な専門職種のスタッフが現地へ赴き、被災者への支援にあたっています。

今回の震災は私たちがこれまでに経験したことのない未曾有の災害であり、その復興にはまだまだ多くの人的、物的、そして財政的な支援が今後長期にわたり必要と考えられます。

和歌山県議会としても、引き続き、被災地への支援に全力で取り組んでいきます。県民の皆様におかれましても、さらなるご支援にご協力くださいますようお願い申し上げます。

県民みんなの思いが、被災地の復興、日本の復興につながることを願います。

和歌山県議会議長

## 予算特別委員会

質問委員(8人)

3月2日(水) 泉 正徳・野見山海・花田健吉・雑賀光夫  
3月3日(木) 山田正彦・多田純一・片桐章浩・富安民浩

知事出席のもと、県の新年度予算案について審議を行い、原案どおり可決しました。  
主な質疑は次のとおりです。

■ 農山漁村の活性化に向けた6次産業化について新年度の取組は。

■ 新農林水産業戦略プロジェクトの推進等に加え、業務需要に対応した産地づくりや体験型観光などを推進するとともに、国の施策等も活用しながら6次産業化への取組を支援し、農林水産業の振興と新たな産業の育成や雇用機会の拡大により活性化につなげたい。

■ 渋滞解消や広域観光、救急搬送に大きな効果が期待できる新文理湾架橋構想についての見解は。

■ 近畿自動車道紀勢線田辺～すさみ間の供用や現在事業中の県事業等が実現した上で、文理湾架橋構想については、高速道路をはじめとする道路網の整備の効果を検証し、委員ご指摘の観点から、その熱い思いを念頭に置きつつ、将来的に検討したい。

■ 森林・林業政策として、切捨て間伐と架線による搬出への県単独補助の必要性は。

■ 森林資源の充実の中で、木材生産を基調とする林業振興を図ることが重要で、低コスト林業による紀州材増産等を積極的に推進している。国の間伐制度の見直しに対し課題を検証し、制度の不足があれば国に要望し、さらに必要ならば独自の政策も考えたい。

■ 私立高等学校及び高等専修学校への運営助成はそれぞれどうか。

■ 当初予算案では、高等学校(全日制)は生徒一人当たり32万7970円、高等専修学校は3万円で積算し計上している。高等学校への補助には、国の財政措置があり、生徒一人

当たり国庫補助金5万2905円、地方交付税25万5900円が措置の予定である。

■ 農作物鳥獣害対策として、射撃場についての知事の所見は。

■ 射撃場について、「市町村の地元負担」、「市町村の地元協力」はきちんとあれば問題はない。問題は「経営」で、建設費以外に県費を毎年何千万円も導入するには、県民の立場から許されるかという点でつらいところがある。3条件がクリアできればつくりたいの熱い思いはある。

■ 支え合う社会づくりのため、高齢者見守りなどの対策にどう取り組むか。

■ 県・市町村・地域が一体となり、見守りや外出・買い物支援をはじめとした生活支援サービスをさらに充実させ、高齢者が地域でのつながりを持ち、支援が必要な方を地域で支

える体制づくりを促進していきたい。

■ 人口減少と高齢化に備えた県の取組については。

■ 人口減少への取組としては、「働く場をさらに増やす」ことが大事である。医療・介護・福祉等のサービスはねらいたい産業ではあるが、公的資金を多く必要とするため、公的セクターの財政を悪化させるおそれがある。自立的に発展できるように、どのように育成するかが大事であり、いろいろな可能性を模索し、積極的な手段を講じたい。

■ 一年半余の民主党政権運営について県知事の任にある立場での感想は。

■ 地方を大切するということで支持を得たにもかかわらず、地方が大切にされていないと感じる。遅れた高速道路、地方の技術開発、農業基盤投資など、本県においては特に必要なものが切られている。現政権の政策は、将来に対する投資を軽視しているように感じる。

被災地復興への支援について